

## 平成30年度天皇誕生日祝賀レセプション 大使挨拶（日本語訳）

皆様、こんばんは。

本日は、皆様をお迎えし、天皇誕生日祝賀レセプションを盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。本日もご臨席いただいた方々に心から感謝申し上げます。

天皇陛下は、12月23日に満85歳になられ、来年1月に在位30年を迎えられます。天皇陛下は現在、皇后陛下とともに日々公務に励まれています。来年4月30日をもって退位され、5月1日に皇太子殿下が天皇に即位されます。

さて、ブラジル日本人移住110周年にあたる記念すべき2018年は、3月にブラジリアでの「世界水フォーラム」における御講演のため皇太子殿下が来伯され、7月には眞子内親王殿下が来伯されるなど、当地日系社会にとっても大変記憶に残る年となりました。眞子内親王殿下の御来伯においては、皇族が初めて訪問した都市もあり、訪問された各地で大変な歓迎を受けるとともに、各地で盛大な式典やイベントが開催されました。その他、ブラジル各地で様々なイベントが開催され、盛況の中、この1年を終えようとしております。各イベントの開催に尽力された全ての皆様に心より感謝申し上げます。

今日のブラジルにおいては、日系社会は約200万人を数え、日本国内にも約20万人のブラジル人コミュニティーがあります。この強い特別な人的な絆によって結ばれた日ブラジル両国の関係を、翌年2019年もさらに一層深められるよう努めていきたいと思っております。

一方で、2018年、日本では豪雨、台風、地震などの自然災害が相次ぎました。皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。被害を受けた西日本の地域、北海道の人々の努力と団結により、各地は驚くべき速さで復興し、外国からの観光客を歓迎する準備ができています。ぜひ皆様の今後の訪問先として日本を選んでいただき、これら地方にも足を運んでいただければ幸いです。

日本とブラジルは、基本的価値と原則を共有する重要なパートナーです。今年は我が国の皇族の訪伯に加え、5月には河野外務大臣が訪伯しました。ブラジルからは2月にボルソナーロ下院議員（当時）、4月にオリヴェイラ上院議長、5月にヌネス外務大臣が訪日されるなど、両国間の要人往来も非常に活発となっています。私は、今後も日ブラジル両国の「戦略的グローバル・パートナーシップ」強化に向けて、政治、防衛、経済、科学技術、教育・文化・スポーツ交流など多岐にわたる分野で、両国間の協力を一層進めていく所存です。

ブラジルでは今年、大統領選が行われ、来年は、ボルソナーロ新大統領の下、政治・経済など様々な分野で新たな進展が期待されます。日本大使館としても、日伯関係の一層の強化のために努力して参ります。また、現在ブラジルでは約700社の日本企業が活動しており、

その会社一つ一つが、日ブラジル経済関係促進の中心的役割を担っています。本日はヤクルト・NEC・パナソニック・日清・ミウラボイラーの5社に、展示スペースにて製品・サービスを紹介頂いておりますので、是非ご覧ください。

先日、2025年の万博が日本の大阪で開催されることが決定しました。その前の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。「リオから東京へ」をモットーに、日伯両国間で様々なスポーツ交流、五輪開催に関わる意見交換が行われているところです。

話は変わりますが、来年ブラジルで開催予定のコパ・アメリカには、日本代表が招待国として参加する予定です。マラカナン競技場で行われる予定の決勝戦は、ぜひブラジル対日本の試合となることを期待しています。実現できた暁には、コパ・アメリカですから、開催国であるブラジルに優勝は譲ってもいいかなと思っています。

最後に、本日は到着したばかりの日本産の新米を使った料理をはじめ、バラエティ豊かな和食をご用意しておりますので、ぜひご賞味ください。日本から最高級の日本酒も提供いたしますので、ぜひこの機会に新たな和食と日本酒の魅力を発見していただければと思います。

本日は皆様ご出席いただき誠にありがとうございます。ご列席の皆様のご繁栄、日伯関係の更なる発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)